

協力・助け合いで詐欺被害防止

広島県広島市立中広中学校 1年 藤井 明希



みなさんは、最近、振りこめ詐欺などの特殊詐欺が発生していることを知っていますか。よくニュースでも見ると思います。特殊詐欺とは、電話などで対面することなく接触し、現金などをだまし取る犯罪のことをいいます。

私の家でも、一度詐欺にあいそうになったことがあります。母がパソコンを使っていたとき、いきなり画面が警告画面に切りかわり、

「パソコンがウイルスに感染しました。この電話番号に電話して下さい。」

という文章が出てきました。音声も流れていて、母は、パニックになっていました。私は、何が起きているのか分からず、「怖い」という気持ちがあったことを覚えています。母と私があせってしまい、何も行動できないでいると、父が表示されている電話番号についてスマホで調べてくれました。すると、その電話番号は詐欺の可能性があると分かり、パソコンの電源を切ったので被害はありませんでした。あの時、父が電話番号について調べてくれていなかったら、被害が起きていたかもしれなかったと思うと、父の冷静な行動がどれだけ大切だったのかが分かりました。なので、もし警告画面が出てきても、まずはあらず落ち着いて、冷静な行動をとることを心がけたいと思います。

この警告表示が出たあと、私は詐欺について調べてみました。すると、怪しい警告表示には、「警告音を鳴らすなどして恐怖心をあおってくるものがある」とありました。確かに、私の家でも出てきた警告表示にも音声も流れていて、私はとても不安な気持ちになりました。しかし、公式サイトによる情報やセキュリティソフトが出すメッセージでは、危機感をあおるような手法が使われることはまずないそうです。だから、不安をかき立てるような手法が使われた際は、あせらず詐欺なのではないかと疑ってみてもいいかもしれません。

私は、詐欺にはだまされないのではないかと考えていました。だけど、実際に詐欺の画面を目の前にしてみると、あわててしまい、落ち着いて行動することができませんでした。

母も、

「だまされないと思っていたけど、不安をあおられるようなことをされると冷静さを失うね。」

と言っていました。私もそう思いました。でも、この体験があったから、これからは、気をつけることができると思います。

もう一つ、最近問題になっているのが、新型コロナウイルスに関する詐欺です。会社員を名乗る男から「新型コロナウイルスの影響で会社が困っていれば三百

万まで融資します」と電話がかかってきたり、市役所職員を名乗り「コロナウイルスのワクチンの予約代行をするので口座情報を教えてほしい」と自宅を訪ねてきたりした、という事例もあります。しかし、保健所や市区町村などがワクチン接種のためにお金や個人情報を求めたり、訪問したりすることはないそうです。困った時は、近くの警察署に相談に行くのもいいと思います。

そんな特殊詐欺のターゲットになりやすいのは高れい者です。私のおじいちゃん、おばあちゃんもねらわれてしまうのではないかととても心配です。もし、不審な電話がかかってきたら、家族に相談することが一番の解決法だと思います。なので、日ごろから家族と仲良くして、いつでも相談ができるように絆を深めることが大切だと感じました。

振りこめ詐欺などの特殊詐欺をたくらむ人がいるということは、とても悲しいし、おそろしいことだと思いますが、今のままでは、詐欺をたくらむ人は減らないと考えます。理由は、詐欺の対策をしても、そのさらに上をいく詐欺が生まれてくると思うからです。だからこそ、詐欺被害防止についてたくさんの人に知ってもらわなければならないと改めて感じました。なので、まずは、家族と話し合うことが一番最初にできることなのではないでしょうか。たくさんの方が詐欺について知り、考えることで詐欺被害防止の意識が高まると思います。

詐欺は、誰でもだまされる可能性があります。みんなで協力し、助け合い、被害を減らしていきましょう。